

あ い さ つ

関西大学では従来も各種の計画をもって学術調査隊を組織し、その実施によって多少ともそれぞれの成果を積み重ねて来た。しかし海外に調査隊を派遣する機会をえなかったのであるが創立80年を記念して、ペルー・アンデス方面に対して、杉原教授を隊長とする調査隊を派遣することができた。私は先ずこれを達成せしめられた学外・学内多数の支援者諸氏に深謝の意を捧げる次第である。

調査の成果は何分にも初めてのことであるため十分であるとはいえないが、この第1次派遣の体験は隊長以下各隊員らが、第2次以降の出動における強い自信を与えたことは事実であり、隊員一同がすべて慎重な行動をもってそれぞれの任務を遂行し、支障なく帰学したことは私にとって何よりも嬉しいことである。

学術調査とはいえ、ひとたびその任につけば、前途には、幾多の艱難が横たわっている。初めからこれを克服する覚悟をもって臨むのが常識である。隊長の帰国後の話を聞いてもひしひしと同感を覚ゆるものがある。このことは学問上の収穫とは別な意味の人間形成への試練でもあった。

この調査隊派遣を第1回としてわが関西大学に新しく一つの学問的展開の道の拓かれることを希望し、永くこうした事業への温い支援を賜わらんことを切に願います。

昭和40年12月5日

本部長 末永雅雄